

# Koryu

Ritto International Friendship Association



可愛いゲストにもインタビュー

## 第1回RIFA会員の集い (交流事業委員会・文化事業委員会)

2002年2月10日(日)

会員相互の絆を深めよう、在住外国籍の方々と交流しようと、2月10日(日)夕刻、ホテルポストンプラザ草津において「第1回RIFA会員の集い」が開催されました。

約60名の会員のほか、栗東市や草津市のALTや在住のブラジル、中国、台湾、ペルー、アメリカの人たちも参加し国際色豊かなものとなりました。また、おいしい料理や

ロベスデュオのバンド演奏が宴に花を添え、終始和やかな雰囲気の中で会は進んでいきました。

ビンゴゲームでは会場のみんが出た数字に一喜一憂し、中野光一さんの楽しい司会もあいまって大いに盛り上がりました。今回ビンゴゲームの景品には、主に「ユニセフ」や人権擁護団体「アムネスティ」の製品をそろえました。バックパック、ピカソの絵のエプロン、万国旗柄のピローケースなどなど。

最後はみんなで輪になり「琵琶湖周航の歌」の合唱。



話がはずんで



外国籍の方々もふりがなやローマ字を見ながら慣れない日本語で一生懸命歌われました。皆さんそれぞれ暖かい雰囲気の中で次のRIFAの活動に期待され集いを終了しました。

## 第1回RIFA会員の集いに参加して

遠い国々から日本に来て、住み暮らされておられる方々は言葉や、生活風習の違いの中、色々苦勞されておられることと思います。私は友人にRIFAを紹介され人会しました。何度かイベントに参加させていただきましたが、私たちの近くに、ご縁があり外国籍の方々にお逢いできる機会を作ってくれた友人に感謝しています。

日本で暮らしておられる外国籍の方々に、少しでも仲良く、気軽に話し合え、日本にて楽しく暮らしていただけるように、市民の一人として、RIFAの発展に寄与していきたいと、気持ちを新たにしています。(竹村義雄)

□委員の皆さん、また自発的に通訳に入っていたいただいた方、ご苦勞様でした。そしてありがとうございました。今後このようなイベントでお手伝いくださる方、いつでも大歓迎です。事務局にご連絡ください。委員会入会、あるいは「お知らせ」にもありますようにボランティア登録、どちらでも結構です。

# RIFA 語学講座を受講して

RIFA語学講座は本年度も前期・後期の2回、10回シリーズで開催されました。初めて受講された方、毎回欠かさず受講される方、それぞれのクラスの声を聞いてみました。

## 英 会 話

RKさん：「英語なんてだいっくらい！！」と思っていたんですが、国際化が進む中でそんなことを言っているのは、「私の人生お先真っ暗」と初級英会話を受講しています。美人で楽しい先生にめぐり会え、なんて私はラッキーなんでしょう。英語は聞いても解らない、書けない、そして難しいと思ってる自分がありますが、少しでも生の英語に接することでこの気持ちが変ればと思っています。

YSさん：アメリカに短期留学したことがありますが、日本では英語を話す機会がなく、そんな時にRIFA語学講座を知り受講。英語だけでなくアメリカの文化等も知ることができ、とても勉強になります。毎回の講座が楽しみです。またこのような語学講座があれば受講したいです。

NFさん：子供も成長、念願の英会話の学習を、とRIFA語学講座初級クラスに今？回目の挑戦中。英語に限らず言葉はととても難しいけれど、人とのコミュニケーションには重要なひとつだと思っています。毎回和気藹々と楽しくlessonしています。いずれ私も英語をマスター、正確に楽しく話せる様になると信じ、study、study、studyの今日この頃です。

MTさん：今で5回目の受講。僅か10回シリーズの講座で上達するとは考えていないが、とにかく講師の話は聞いているだけで面白い。「多様な文化のアメリカ」「同時テロとアフガン」等等多彩で、実際自分で見聞し体験したアメリカの社会と生活について話してくれるから説得性があり、冗談もあつたりして楽しんでおります。テキストでなく、我々の希望のテーマでの1時間半。私にとってはストレス解消の時間です。

## スペイン語

MYさん：私とスペイン語の出会いは、20年前、東京のライブハウスでのラテン音楽のサルサでした。以来NHK講座にもチャレンジしても、途中から急にテンポが上がり、断念の繰返でした。しかしながら今回、先生のおかげで、わたしの錆びついていた頭の中に一筋の光明が見えてきた感じがします。スペイン語は英語よりなじみがなく、難しいと思われるでしょうが、例えば食べるパンはそのままパンですし、家族はファミリアです。(パンは英語だと思っていた人はいませんか?) 文法も主語を省略できますし、日本語から入るとすると英語より楽かもしれません。皆さんも挑戦してみませんか。楽しいですよ！



スペイン語教室

## 中 国 語

ONさん：学校でも中国語を習っていますが、この講座では少人数の受講生のレベルに合わせて進めてくださるので、難しい発音や中国の文化などとても解りやすく楽しく受講しています。

## お 詫 び

後期英会話中級クラスの突然のキャンセルで、中級受講生の方々にはもとより、初級・上級受講生の方々にもご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、ご協力くださいましたことに深く感謝いたします。(RIFA事務局)



栗東市の国際交流教員として昨年の9月から英語指導にあたられている生粋の  
ニューヨーカー、マイケル イーエン先生が寄稿してくださいました。

## New York, New York

by Michael Yuen

"New York City", the city so nice, they named it twice. If there were one word that I can describe my home city, then I would use "diverse." Where else can you taste the world, but never have to leave the city. There is so much to see, eat, hear, and smell. You can see people from all over the world, I can eat Indian food for lunch and French food for dinner, all in the same day and probably the same street.

I have been living in Ritto now for about six months. It's very different from New York City, almost like night and day. My friends and family live and work in New York City. I grew up there, too. I guess I didn't realize how much New York City meant to me until lately. After living here and seeing the terrorist attacks on TV, I felt helpless and distant sometimes, because I am so far away from home.

I went back to New York in October. I was worried about the flight, about my friends and family. But most of all, I worried about how much things have changed in the two months that I have been away. I saw my friends and family, everybody trying to get their life back to normal. People were going about their lives. Everybody was trying to be strong.

Ever since coming back to Ritto, I have been even more determined and dedicated to do my job and enjoy my life. My job and my students are wonderful. I enjoy each and everyday working with them. Living in Ritto has enriched my life. The quietness, the people, and the food have made my time here enjoyable. I have to say that living in Ritto has changed me my life for the better.

## ニューヨーク、ニューヨーク

マイケル イーエン

「ニューヨーク市」、素敵な街、人々はニューヨーク、ニューヨークと名づけました。もしニューヨークと1語だったら、それは私のふるさとを表し、わたしは「多様性」ということばを使いたいと思います。どこかよへ行ってこそ世界を見ることができでしょう、けれど（ニューヨーク、ニューヨークでは）街を離れずともそれができるのです。見るもの、食べるもの、聞くもの、においのかぐものなど、それはそれはたくさん。世界中の人々がいます。昼食にはインディアンフードを食べ、夕食にはフランス料理を食べるなんてことが、同じ日に多分同じ通りでできるのです。

栗東に来て6ヶ月になります。ニューヨークとは大変違います。ほとんど夜と昼の違いのようなものです。私の友だちや家族はニューヨークに住んでおり、私もそこで育ちました。そして最近になってニューヨークが私にとってどんなに多くの意味を持っているかがわかったような気がします。ここに住み、テレビでテロを見て、遠く離れて来ているためにどうすることもできないということ時々感じました。

10月にニューヨークに戻りました。飛行機や友だち、家族のことが心配でした。けれど私が心配した大部分のこと、それは、私がニューヨークを離れているその2ヶ月の間にどんなに変わっているかということでした。私の友だちや、家族、みんな普段の生活に戻ろうとしていました。自分たちの生活を復興しようとしていました。だれもが強くなるようにしていました。

栗東に戻ってきて以来、私は前にもまして仕事に励み、生活を楽しもうと固く決心しました。私の仕事、私の生徒は素晴らしい！毎日毎日そんな彼らといっしょに楽しく仕事をしています。栗東に住むということが私の生活を調いのあるものにしてきています。静けさ、人々、食べ物が私の時間を楽しくしてくれています。栗東に暮らすということが私の人生を良い方向に変えてくれているといえるでしょう。

### 読者コラムにご投稿ください

エッセイ、紀行文、詩、短歌や俳句など何でも結構です。採用分には薄謝をさしあげます。

郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・TEL/FAXを添えて事務局までお送りください。なお、匿名を希望される方はその旨お書き添えください。